

教科(科目)	保健体育(保健)	単位数	1 単位	学年	2 年次
使用教科書	大修館書店『現代高等保健体育』				
副教材等	大修館書店『現代高等保健体育ノート』				

1 グラデュエーション及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①本校の特色及び取組を生かした高大接続、教育課程の編成、授業改善により基礎学力の向上を図るとともに、さらなるキャリア教育の実践を推進します。</p> <p>②規律ある学校生活の中で基本的生活習慣を確立し、時代の変化に対応できる能力の向上を図ります。</p> <p>③生徒一人一人の良さや可能性を伸ばし、自立した社会生活を営むことができる力を育てるとともに、生徒の自己実現を図ります。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>総合学科の本校では多様な科目開設という特徴を生かした教育活動を展開し、「産業社会と人間」を基本として3年間を見通したキャリア教育を充実させます。また、地域と連携した実習や就労体験等、地域の教育資源を活用して教養、人間性及び社会性を育てます。</p> <p>①多様な進路希望に対応する選択科目を設け、資質、能力の育成に相乗的であるように教科等横断的な視点に立った指導であること。</p> <p>②学習の継続性に配慮し、主体的・対話的で深い学びが実践できるような基礎基本を重視した教育課程を編成する。</p> <p>③ICTの活用も含め、生徒個々が自身の進路希望を意識した学習態度の早期醸成と高揚につなげられるものであること。</p> <p>④学校設定科目「キャリア実習」をはじめ、科目の設定にあたり地域産業、地域の人材を生かした授業展開ができること。</p>

2 学習目標

<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
--

3 指導の重点

<p>①生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決方法を思考し判断できる能力を育てます。</p> <p>②健康を支える環境づくりの基礎的な知識を習得し実践できる態度を育てます。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。</p>	<p>・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。</p>	<p>・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

5 評価規準と評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	「4 評価の観点の趣旨」を踏まえ、 ・定期考査（ペーパーテスト）の分析 ・授業中の発言・学習への取組の観察 ・保健ノート、学習カード等の内容の確認 などから、評価します。	「4 評価の観点の趣旨」を踏まえ、 ・定期考査（ペーパーテスト）の分析 ・授業中の発言・学習への取組の観察 ・保健ノート、学習カード等の内容の確認 などから、評価します。	「4 評価の観点の趣旨」を踏まえ、 ・授業中の発言・学習への取組の観察 ・保健ノート、学習カード等の内容の確認 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
3単元 生涯を通じる健康（1～10）					
4	1 ライフステージと健康	10 A 思春期と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子（発言・行動観察） ・保健ノート、学習カード（記述の確認）
	2 思春期と健康				
	3 性意識と性行動の選択				
5	4 妊娠と・出産と健康				
	5 避妊法と人工妊娠中絶				
6	定期考査			1	
7	6 結婚生活と健康	10 B 労働と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の発達と結婚生活について説明できる。 ・加齢にともなう、心身の変化について例をあげて説明できる。 ・働くことの意義や健康とのかかわりについて説明できる。 ・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子（発言・行動観察） ・保健ノート、学習カード（記述の確認）
	7 中高年期と健康				
	8 働くことと健康				
8	9 労働災害と健康				
	10 健康的な職業生活				
9	4単元 健康を支える環境づくり（1～11）				
10	1 大気汚染と健康	6 C 環境と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子（発言・行動観察） ・保健ノート、学習カード（記述の確認）
	2 水質汚濁、土壌汚染と健康				
	3 環境と健康にかかわる対策				
11	4 ごみの処理と上下水道の整備				

11	定期考査			1	
12	5 食品の安全性	3 D 食品と健康	<ul style="list-style-type: none"> 食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 食品の安全性を確保するための行政や製造業の役割について説明できる。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の様子(発言・行動観察) 保健ノート、学習カード(記述の確認)
	6 食品衛生にかかわる活動				
1	7 保健サービスとその活動	3 E 保健・医療制度について	<ul style="list-style-type: none"> 保健行政の役割について例をあげて説明できる。 わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 医薬品の正しい使用方法について説明できる。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の様子(発言・行動観察) 保健ノート、学習カード(記述の確認)
	8 医療サービスとその活用				
	9 医薬品の制度とその活用				
2	10 さまざまな保健活動や社会的対策	3 F 保健活動と社会対策	<ul style="list-style-type: none"> 国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の様子(発言・行動観察) 保健ノート、学習カード(記述の確認)
	11 健康に関する環境づくりと社会参加				
2	定期考査			1	
3	総括				

計35時間(50分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 思春期 と性 10時間	B 労働と 健康 10時間	C 環境と 健康 6時間	D 食品と 健康 3時間	E 保健・医療制 度について 3時間	F 保健活動と 社会対策 3時間
-----------------	---------------------	---------------------	--------------------	--------------------	--------------------------	------------------------

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

6 課題・提出物等

・定期考査時にノートを提出してもらいます。

7 担当者からの一言

- 「保健」は1年・2年次に1単位時間学習します。
- 2年時では生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境作りを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営むことができるよう学習しましょう。
- 板書等をしっかり整理し、ノートにまとめましょう。